

一般質問通告書

通告順番 1 番  
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 子ども医療費助成について	(1) 過剰受診を抑制させる取り組み状況について。  (2) コロナ禍における子ども医療費助成への影響について。  (3) 子ども医療費助成対象年齢引き上げについて。	町 長
2. 防災減災対策について	(1) 自分自身の防災行動計画を事前に整理しておく「マイ・タイムライン」の活用について。  (2) 乳幼児用の離乳食の備蓄について。  (3) マンホールトイレの整備状況について。	町 長

一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 行政手続きにおける押印廃止と書面の簡素化について</p>	<p>(1) 申請書等の押印廃止について。</p> <p>(2) 複数の手続きをワンストップで、書かずに行える「おくやみコーナー」の設置について。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 網膜色素変性症の患者が使用する「暗所視支援眼鏡」購入費への助成について</p>	<p>(1) 高感度カメラで光を捉え、目の前のディスプレイに映し出す仕組みで暗い場所でも明るく見える「暗所視支援眼鏡」の購入費を助成するために日常生活用具に追加するべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 2 番  
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 地域公共交通網形成計画について</p>	<p>(1) 大津町運動公園スポーツの森・大津周辺への新駅設置を求める陳情を受けて、まちづくりのリーディング・プロジェクト「新駅を核としたまちづくり計画」を推進する考えはないか。</p> <p>(2) 一部BRT（バス専用路線）導入による町内巡回バスの環状線化の取り組みについて。</p> <p>(3) 乗合タクシーの利便性や利用率向上のための対策は。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 子育て支援に特化した成長戦略を</p>	<p>(1) 「子育て支援日本一のまちづくり」を目指す手厚い支援策について。</p> <p>①こども医療費の無償化・専門学校・大学等も含む無償化を行う考えはないか。</p> <p>②病児保育施設の設立を。</p> <p>③学習塾の月謝等の補助等など様々な手厚い支援策を。</p>	<p>町 長                      教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 新規就農者（担い手）の不足対策を</p>	<p>(1) 国も「食料・農業・農村基本計画」が5年ごとに決定されているが、ただ単に国の計画を我が大津町に取り入れても新規就農者（担い手）の解決策にはならない。大津町独自の補助金などを補助することで新規就農者（担い手）の確保の取り組みを考えて貰いたい。 担い手が出来ることで、高齢化・過疎化の解決にもつながると思うが。</p>	<p>町 長 農業委員会 会長</p>
<p>2. テレワークの為の受け入れ態勢整備を</p>	<p>(1) コロナ禍で、多くの企業が自宅でのテレワークを取り入れている。会社で仕事をしなくても、自宅ですることが出来る時代、それと共に会社には週1回、又は月1回の出社で良くなり東京に住まなくても北海道や九州でも仕事出来る良い時代になった。 テレワーク環境での、個人や企業を受け入れる整備を進めてはどうか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番  
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 新型コロナウイルス感染症関連による失業者への相談体制</p>	<p>(1) コロナ禍で失業したり、収入減の人が増加していると思われる。相談窓口の設置が必要ではないか。相談内容は、営業だけでなく失業や生活困窮、住宅確保、生活保護など多岐にわたると考えられる。ちらしやHPなどで啓発し命と暮らしを守るのが行政の仕事。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 公共交通政策の充実改善を</p>	<p>(1) 町の北、東、南エリアからの町中心部への往復に乗り合いタクシーが導入され、とくに高齢者の方などの大切な交通手段となっている。改善、充実が必要と思われる点について</p> <p>①既存の乗り合いタクシーの便数を増やすこと。</p> <p>②セントラル病院への直接乗り入れの改善。</p> <p>③町中心市街地エリアでも乗り合いタクシーが必要。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番  
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 町営住宅 町の都合による                      引っ越しへの支援は</p>	<p>(1) 公営住宅等長寿命化計画は、大きな変化があれば見直すとされていると思うが、特に西嶽住宅の入居者への対応は、適切だろうか。                      熊本地震で壊れたり、雨漏りした住宅から他の住宅転居はより丁寧な援助が必要ではないか。                      入居者は意に沿わない転居を強制されるのではないか?という不安がある。入居者全員の丁寧な意見聴取、疑問に答えることが必要ではないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番  
 通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 先般の土地売却について道理を尽くす説明を求める。</p>	<p>先般の町有地の売却については、まだ多くの疑義が残る。不合理な土地価格の算定や、本来必要な書類や記録がないなど意思決定の経過（プロセス）が不明朗で、矛盾した説明もある。</p> <p>(1) 土地鑑定の際緯とその説明に不合理な点と矛盾が散見される。</p> <p>(2) 売却先の変更の際緯、変更する決定は妥当だったのか。</p> <p>①社会福祉法人、建設会社、商事会社の関係。</p> <p>②変更を承認した際緯と、その理由の詳細。</p> <p>③「売買が出来なければ・・・事業の運営に支障をきたす」とは具体的に何を意味するのか。（令和2年6月定例議会会議録 180 ページ）</p> <p>(3) 本件については当初からこれまで、通常とはいえない判断が繰り返されている。原因・要因をどう考えるか。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 6 番  
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 一歩先行く自治体とは	<p>(1) 菅政権発足は町の方向性を菅ノミクスに軸足を合わせろと言うことである。長年の議員活動においてハッキリと断言できるのは、政権が変わることは国策が変わり、その政策に多くの予算が優先的に付けられること。この流れを認識し町の政策を組み立てて行くことが賢く効率性が高い自治体を生み出し一歩先行く住みよい町となる。</p>	町 長
2. デジタルデバインドと情報難民	<p>(1) いろんな所でデジタル化が進み便利になったと全ての人が感じるだろうか。自分自身も年齢を重ねてくると面倒な電子入力画面にでくわし、要件を進める以前の取扱いに苦慮し、自筆で書いた方が悩まず早い例がある。LINE. Twitter. FB. sMeil. など時代の流れと進歩を享受するのは当然だが、情報技術（IT）を使いこなせる者と使いこなせない者との間に生じる機会の格差、個人間の格差が生じているのも事実である。この困難を認識し町政を進めなければ住みよい町にはならない。豊かな街とは老いも若きも情報を共有し、困っている方がいれば手を差し伸べることが当たり前のできる地域である。</p>	町 長